

ふーお通信



Vol.191 発行 2021年12月1日

<http://www.mpc-kodomo.sakura.ne.jp/fukurou/>

年の瀬となり、あちこちからクリスマスソングが聞こえ出しました。

コロナに負けず元気に1年を締めくりたいです。

小児科のイルミネーションが輝きます。見てくださいね。



ご連絡とはこちらへ。

TEL0858-22-0351

今月のおすすめ



『ぼかぽかゆずおふろ』
すどうあさえ ぶん あおきひろえ え

ほるぷ出版

あつくんは、庭になったたくさんのゆずで、ゆずやさんを開きます。買いに来てくれたのは、たくさんの動物さんたち。最後はみんなで、、、
今年の冬至は12月22日です。小さい子向けの行事絵本。



『森のクリスマス』

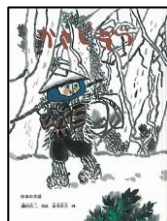
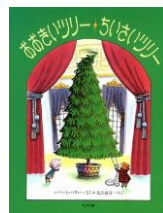
さく・え: きむらだいすけ

出版社: 福武書店

森に住んでいるおじいさん。このおじいさんは、動物たちとお話できるんですって！
クリスマスの前日、そのおじいさんはどこかへ出かけていきました。おじいさんの正体は？

どのページにも、モモンガがいます。さがしてみてね！

年末にはこの絵本



今年のクリスマス会は中止です



娘が幼児の頃に読み聞かせをしていた
芭蕉みどりさんの絵本「ふゆのよるのおくりもの」
しばらくこの絵本から離れていた小学4年生のクリスマスの夜突然、脳裏をよぎったのか？寝る前にトレイに載せたクッキーと紅茶をツリーの下におき「サンタさんへ」と手紙を書きました。

なんのまねかな？ あれ？絵本の一コマ？だったかな、
と思い出しこの絵本を取り出しページをめくりました。

そして、私は絵本と同様に震え字で「ありがとう」と書いて朝をむかえました。気づかれないようにはらはらどきどきしながら。

その次の年もそのまた次の年も、中学3年生のクリスマスまで続きました。

そう、サンタさんの存在を知りながら空想の世界で、親子で遊んでいました。

いや、遊ばれていたのか？そんな思い出がとても懐かしく、嬉しい時期を過ごした大切な娘との思い出です。

by なごみママ



「かしこく食育」管理栄養士 石賀安枝さん
日本海新聞連載中です。

石賀さんからコメントいただきました。

小さいお子さんがいるママたちに、第4の食事である「おやつ」と、嗜好品である「お菓子」をきちんと区別してもらいたいという気持ちで書きました。

報告

スタッフの活動が 表彰されました！！

去る11月2日、ウェスティン都ホテル京都で、令和3年度国際ブチソロミスト日本財団の贈呈式がありました。

そこで、スタッフのたんたんが代表として活動している「保護者のピアサポートの会」が社会ボランティア賞を受賞しました。

保護者のピアサポートの会は、発達障害のある子どもの保護者の安心して気軽に相談できる情報交換と研修の場で、保護者の心のよりどころとなっています。

